

兵庫県瀬戸内海・日本海藻場干潟ビジョン

【藻場・干潟の保全・創造に向けた対策実施海域及び対策内容】

減少傾向にある藻場・干潟面積の増大と海域の生産性向上を図るため、水温や水質等の観測、藻場・干潟の消長確認、食害生物や藻場・干潟を利用する生物の状況確認を継続しながら、栄養塩類濃度向上のためのかいぼりや下水処理水管理運転の取組みや食害対策を進めていく。

対象となる藻場・干潟



アラメ・カジメ藻場



ホンダワラ藻場



アマモ藻場



干潟

藻場・干潟の対象及び効用



藻場に蛸集するメバル



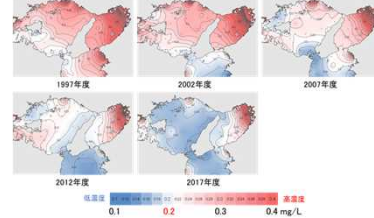
アオリイカの産卵



二枚貝による水質浄化

瀬戸内海海域

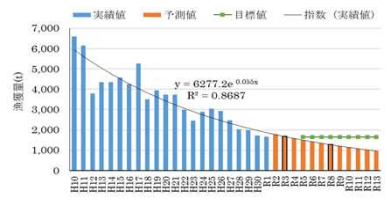
藻場面積、干潟面積の維持を目標に、藻場・干潟生産力低下の最大要因である栄養塩不足の解消に取り組むとともに、海藻着定基質の設置や覆砂等、藻場干潟面積増加に取り組んでいく。



瀬戸内海海域の全窒素量の経年変化 (5年ごと)



播磨灘のDIN濃度と漁獲量の関係



兵庫県瀬戸内海漁船漁業の漁獲量推移と改善目標

現状 藻場面積は減少傾向にある。また干潟面積は平成2年から一部回復しているが、二枚貝の漁獲量が激減しており干潟の生産力低下が著しい。

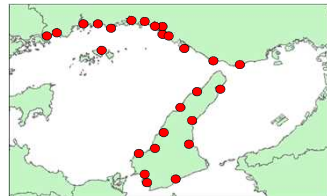
主な原因 近年の栄養塩類濃度の低下が藻場の衰退や干潟の二枚貝資源減少、海域の漁獲量減少に大きな影響を与えていることが明らかとなっている。

取組み

ハード事業として、覆砂による底質改善や海藻着定基質の設置を行っている。またソフト事業として下水処理施設の排出栄養塩濃度を管理する取組みや漁業者による海底耕うん、ため池のかいぼりにより、海域への栄養塩供給や底質改善対策を実施している。



覆砂



栄養塩管理運転実施箇所



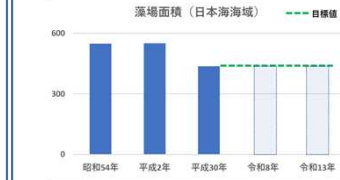
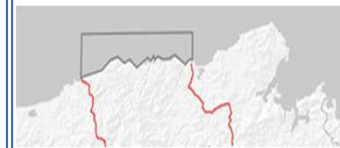
海底耕うん



ため池のかいぼり

日本海海域

藻場面積の維持を目標に、海藻着定基質の設置や食害対策を行い、藻場の保全に取り組んでいく。



現状 藻場面積に大きな変化はないと推測されることから、今後もモニタリング等を行って現状と同程度の藻場を維持することを目指すとしている

取組み

ハード事業として、母藻付きの海藻着定基質の設置を行っている。また食害対策としてウニの駆除を実施している。



海藻着定基質の設置



焼けた岩礁



ウニ駆除作業